

平井愛乃さんがホッケー U18日本代表に
ホッケー女子U18日韓交流事業

ホッケー女子U18の日韓交流事業として、韓国で交流試合を行うU18日本代表に、伊予高等学校2年生の平井愛乃さん=昌農内=が選ばれました。

「体力には自信があった。選ばれて、とてもうれしかった」とほほえむ愛乃さん。9月4～9日の6日間、韓国に行き、6日と8日に行われた韓国との交流試合にフォワードで出場しました。「6日の試合は、焦ってしまって思うようにプレーできなかった」と悔しさも一。しかし、8日の最終試合では、韓国に1点のリードを許している中、試合終了間際に愛乃さんが力強いシュートを決め、引き分けに。「『決めてやろう』と思って、とにかく打った。ゴールに入るいい音が聞こえて、鳥肌が立つくらいうれしかった」と目を輝かせます。

メンバーのほとんどが3年生の中、「分からないことは積極的に聞いて、自分のプレーに生かした」と振り返る愛乃さん。「来年も日本代表を目指す。次は、自分が後輩を引っ張っていけるくらいになりたい」と意気込んでいました。



町内全体でいじめの防止を
松前町いじめSTOP子ども会議

「松前町いじめSTOP子ども会議」は8月22日、役場で行われ、町内小中学校と伊予高等学校の児童生徒代表者40人が参加しました。

会議では、各校の代表者がいじめの防止に向けた取り組みを発表した後、高校生がリーダーとなって意見交換を実施。参加した松前中学校3年生の出来咲彩さんは、「マスク生活でみんなの笑顔が消えている。他校の取り組みを参考にして、笑顔を取り戻したい」と意気込んでいました。



眞部哲哉さんに知事表彰
令和5年度高齢者福祉関係功労者知事表彰

「第63回愛媛県老人クラブ大会」が、9月6日、県民文化会館で開かれ、眞部哲哉さん=神崎=が高齢者福祉関係功労者知事表彰を受けました。今回の表彰は、地域の老人クラブ会長をはじめ、松前町老人クラブ連合会役員を務めるなど、長年にわたり地域のリーダーとして尽力してきた功績が認められたもの。

表彰を受けた眞部さんは、「これからも地域に貢献したい」とほほえんでいました。

戦没者の冥福を祈って
松前町戦没者追悼式

「松前町戦没者追悼式」が、8月25日、文化センターで行われ、遺族や団体の代表者などが参列しました。式典では、岡田小学校6年生の渡部翔優さんが、「平和への祈り」と題して、作文を発表。「戦争のことを知って、戦争で亡くなった人を思い、戦争のない世界を祈っていききたい」と訴えました。



その後、参列者は献花し、犠牲者の冥福を祈りました。
①作文を発表する渡部さん
②献花する参列者



大間地区「火流し」「灯籠流し」
お盆の伝統行事

大間地区の有明橋付近で、伝統行事「火流し」「灯籠流し」が行われました。

火流しは、8月14日、小中学生や保護者が板の上をわらに乗せ、火を付けて川の中で引っ張って祖先の霊を迎え、翌15日、同様にして霊を送る行事です。一方、灯籠流しは8月25日、灯籠を川面に浮かべ、祖先をしのぶ行事です。どちらの行事も、幻想的な風景が広がっていました。



①色とりどりの灯籠が次々に
②大迫力の火流し



当日の様子を町公式インスタグラムで公開中! →

一人でも多くの命を救うために
昌農内自主防災会主催「普通救命講習会」

昌農内自主防災会主催の「普通救命講習会」は9月10日、昌農内集会所で行われ、地区の住民14人が参加しました。

これは、10年以内に1世帯当たり1人以上が「普通救命講習1」を修了することを目指して、昌農内地区が本年度から始めたもの。今年は、計4回講習会を開催し、約50人が講習を修了する予定です。

参加者は、消防署職員などから心肺蘇生の手順などを学び、災害発生時の自助や共助の意識を高めていました。



スポーツでつなぐチャリティーの輪
24時間チャリティースポーツカーニバル MASAKI

町スポーツ協会主催「24時間チャリティースポーツカーニバルMASAKI」は8月26、27の両日、松前公園などで行われました。

このイベントは、日本テレビの24時間テレビ「愛は地球を救う」に賛同して行われているもの。今年は4年ぶりに開催され、レクバレーやソフトボールなど、計12種目を行い、参加者はスポーツと募金でチャリティーの輪を広げました。

集まった募金6万6,348円は、同テレビに寄付されました。






健康づくりタウンを目指して 第3回松前町健康づくりフォーラム

「第3回松前町健康づくりフォーラム」は9月2日、文化センターで行われ、多くの人でにぎわいました。

「食べる力をつけて人生100年時代の健康寿命を延ばす！」をテーマに行われた同フォーラム。午前中のステージイベントでは、料理研究家の真鍋摩緒さん、中村和憲さん、ベリッシモ・フランチェスコさんによるクッキングショーが開催されました。おいしくて簡単に作れる朝食や、お弁当などのレシピを実演を交えて紹介。中には、町の特産品のはだか麦を使ったレシピもあり、観客は、はだか麦の新たな可能性に驚嘆していました。

午後からは、親子で参加できるフルーツサンドやアイスクリーム作り体験のほか、魚のさばき方教室などが行われました。

参加した皆さんは、楽しく「食」について学びながら、健康について考えていました。



3人の料理研究家が考案した料理の作り方を、町公式YouTube（下のQRコード）で公開しています。

ぜひご覧ください。



1_ トマトを使った夕食メニューを作ったベリッシモさん 2_ 完成した料理 3_ 子育て経験を交えたショーを披露した中村さん（写真Ⓔ）と真鍋さん（写真Ⓕ） 4_ 試食する久保田大希さん 5_ お口の健康を学ぶ「釣りゲーム」 6_ 魚のさばき方教室。自分で魚をさばいて作った料理はおいしいね 7_ 珍味がたくさん。どれにしようかな 8_ カードゲームで魚のことを勉強 9_ フルーツとクリームたっぷりのフルーツサンドが完成